

## 株式会社TTL

### 「5つ星クオリティ」製法によるサステナブルなタオルづくり

#### ★取組みのポイント

- ① 「5つ星クオリティ」製法によるサステナブルなタオルのCFP算定
- ② CO2排出量の削減を実現した製織や最新型の乾燥機などによる省エネ

## 会社概要



創業

1983年1月

業種

タオル製造業

社員数

50名 (2025年時点)

事業内容

「吸水性」「やわらかさ」「環境配慮」を追求したタオル製造

## 事業紹介

質の高い製品づくりと環境への配慮の両立を実現するために、紡績会社と共同開発したコンパクト・サイロ糸を製品のほとんどに使用し、「吸水性」「やわらかさ」「環境への配慮」を追求したタオルづくりにこだわる一貫工場



#### ★環境PRポイント

地球環境を考えた吸水性と柔軟性が高く、毛羽の少ない高機能なタオル

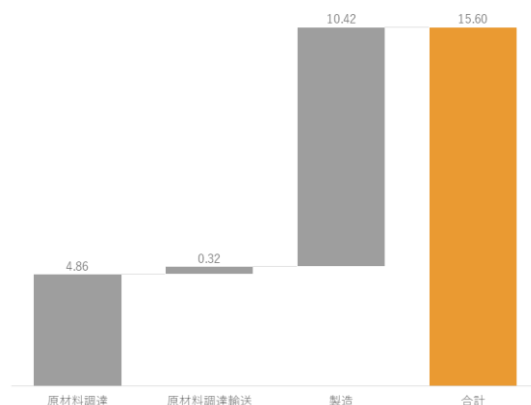


CO2排出量の削減を実現した製織や最新型の乾燥機による省エネ、厳格なチェックに基づいた排水処理など、環境への配慮とタオルの製造工程で必要となる「糊」と「柔軟剤」の使用量を最小限に抑えたタオルづくりにこだわっています。

## タオル製品のCFP算定



### 自社の生産工場を出るまでを評価範囲としてCFPを算出



- タオル製品について、原材料調達から製造までの範囲で算定し、「15.6kg-CO2e/kg」と算定された。  
本活動からライフサイクル段階において、製造段階の排出量が多いことを特定でき。今後の削減活動に活用する。

### ★ポイント

各設備で生じるエネルギー量を把握し、各機器の省エネを図り改善活動への活用

## CO2排出量削減の現場への意識浸透



一人ひとりのモチベーションが省エネ対策の継続に繋がる。

- 省エネ活動を継続するには、現場まで意識を浸透させ、双方向のコミュニケーションで全社員の高いモチベーションを保つことが重要であり、その結果として改善の継続とCO<sub>2</sub>削減成果が実現している。

大きな課題だけでなく、小さなロスを見つけて改善する。

- 省エネを進めるには大きな対策だけでなく、設備や運用に潜む小さなロスを見つけて一つずつ改善する。

※CFP：商品やサービスのライフサイクルを通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算したもの。  
Carbon Footprint of Productsの略。  
※算定結果は外部支援に基づき独自に実施したもので、第三者認証に基づく情報ではありません。  
※本算定の一部の数値には仮定を置いた状態で算定を実施しているため、工事固有の値でない部分があります。

## 自社工場の省エネへ向けた活動



- 今後のCO2削減へ向けて水洗機や捺染機などの生産設備に対して省エネ活動を進めております。また、生産時のルーティーンワークの見直しや更新を行います。

## 取組み事例

### 機器などの設備を保温



- 工場の機器や配管は保温カバーを用いて放熱対策を徹底し、電力の過剰供給を抑制。熱を放出しやすい箇所は、今後さらに保温処理を進めていきます。また、空調設備のインバーター化も実施し、きめ細かく省エネ対策を行っています。



環境に配慮した製品づくりに携われることにやりがいを感じています。全社員が意識を高め、CO2排出量削減の取り組みを推進していきます。